



ECO CITY Kagoshima なまち がごしま

環境リーディングシティを目指す鹿児島市。

環境に配慮した取り組みをしている市民や事業者、学校が増えています。

皆さんが実践するエコな取り組みのヒントをご紹介します。

エコドライブのすすめ



今年11月に行われた講習会では、16人がエコドライブにチャレンジ。講義を受ける前と比べて、講義後の運転ではほぼ全員が約10%以上の燃費向上という結果になりました

❖誰でもできる環境にやさしい運転術

近年、ハイブリッドカーや電気自動車などのエコカーが注目されていますが、普通の車でも、運転の仕方を少し工夫するだけで燃費を向上させられることをご存じですか。

車は、①発進、②巡航、③減速、④停止の4つのパターンを繰り返しながら走行しています。これらの4つのパターンごとに燃費向上に効果的な運転術があります。

エコドライブの主なポイント

- ①ふんわりアクセルで「eスタート」
発進時が一番燃料を使うので、アクセルは徐々に踏み込み、滑らかに加速することが大切です
- ②加速・減速の少ない運転
走行時は車間距離に余裕をもって、アクセルを一定に保つよう心掛けましょう
- ③早めのアクセルオフ
先の交通状況を見て、早めにアクセルから足を離し、エンジンブレーキで減速。一定以上のエンジン回転でアクセルから足を離すと、燃料を全く使わない状態になる「フューエルカット」という機能が働きます
- ④停車して、人を待つ間などは、アイドリングストップ
ある程度の時間、停車するときにエンジンを切ることで、燃料の節約につながります

このほか、エアコンの設定をこまめに調節、必要な荷物を積まない、タイヤの空気圧をこまめにチェックするなど、運転以外の点にも気を付けることで燃費向上につながります。

❖エコドライブを体験して、実践へ

日本のすべての二酸化炭素排出量のうち、家用車からの排出量が約10%を占めています。もし、すべての家用車のドライバーが燃費を10%向上させることができれば、日本全

体の二酸化炭素排出量を1%削減できるので、ドライバー一人ひとりがエコドライブに取り組むことが大切です。

本市では、平成19年度から市民などを対象に体験型のエコドライブ講習会を開催。燃費計を装着した自動車を運転し、エコドライブの実践講義を受ける前後の燃費を比較することで、その効果を体験できます。



「エコドライブの第1歩は、正しい運転姿勢から。シートと足の位置が特に重要です」と語る講師の白濱さん



かごしま環境未来館のエコドライブ体験コーナー

また、かごしま環境未来館では、シミュレーション機器（パソコン）を使って、日ごろの自分の運転を見直し、いつでも気軽にエコドライブを学ぶことができます。

自動車は私たちの生活になくてはならないものとなっています。すぐに始められるエコドライブを実践して、無理なく地球に優しい生活を送りませんか。